

教育課程の考え方

＜設立の趣旨及び教育理念＞

共立高等看護学院は、公益社団法人山梨勤労者医療協会が設置している看護専門学校である。山梨勤労者医療協会の病院・診療所は、予防・治療・リハビリテーションまでの総合的保健医療活動を「患者の立場に立ち、いつでもどこでも誰でも安心して受けられる医療」という理念のもとにすすめている。

共立高等看護学院は、この理念を直接社会に実践するために、これからの医療・看護を担う、優れた人材の育成を目的として設立された。

＜教育目的＞

看護師としての必要な知識及び技術を修得させると共に、その人間性と人格の前面発達をうながすことを目的とする。

＜教育目標＞

1. 「患者の立場に立つ看護」を基本理念とした、患者観、医療観、社会観を養う。
2. 「患者の立場に立つ看護」を行う専門職業人として、必要な知識と技術を身につけ、実践の場で正しく応用できる能力を培う。
3. 多面的で高度な要求に応えるチーム医療のなかで、看護師として職務に誇りと責任をもち、自主的・創造的に行動できる豊かな人間性を育てる。

主要概念の定義

本校では、カリキュラムを編成するにあたって、看護学を構成する主要概念として、人間、健康、環境（社会）、看護の4つを基本とした。

人間	<ol style="list-style-type: none">1. 人間は身体的、精神的、社会的に統合された存在である。2. 人間は成長発達していく存在である。3. 人間とは労働を通じて生活を支え科学や芸術を作りだし、仲間を知り、人間性を形成し人間となる存在である。4. 人間は何人からもその生命、身体、健康を害されることなく、生存する自由をその権利として持っている存在である。5. 人間は単に適応するだけでなく、環境に主体的に働きかけ、変革し、自らの生存の条件を作り出す。その過程を通して自己を変革し発達する存在である。
健康	<ol style="list-style-type: none">1. 健康は身体的、精神的、社会的側面がありお互いに影響しあっている。2. 健康に及ぼす因子には、個人ないし社会の価値観、経済、教育、労働などがある。3. 健康には客観的側面と主観的側面がある。4. 健康を維持増進したり、獲得したりすることは、誰もが平等に持っているべき基本的権利である。5. 健康は人間の尊厳やQOL（生活の質）に影響を与える。
環境 ・ 社会	<ol style="list-style-type: none">1. 環境は、人（主体）を取り巻いて、その存在や生活に関わる諸条件の集まりであり、人間と環境は相互に関連しあって、直接・間接的に影響を与えている。2. 環境は外部環境と内部環境があり、相互作用を持ち健康・発達に影響を与えている。3. 人間は社会的存在であり、社会は人間らしく生きるための機能を持っている。4. 社会は、政治・経済・法律・文化・教育・医療・福祉などの機能を持っており、絶えず変化し、発展している。
看護	<ol style="list-style-type: none">1. 看護はあらゆる年齢・健康レベルの個人又は集団を対象とする。2. 看護は人間の最良の健康をもたらすため、健康の保持増進、健康の回復そして安らかな死に向けての援助を目的にしている。3. 看護とは、日常生活への援助であり、その人らしさを追求した援助であり、QOL向上に向けてのプロセスである。4. 看護活動は人間との直接的・継続的活動であり、保健医療チームとの連携が不可欠である。5. 看護活動を展開するためには、専門的知識、技術をそなえると同時に、豊かな人間性が求められる。6. 看護は、患者の立場に立ち、患者の要求にこたえ、患者とともにたたかう活動である。